

南部片富士湖だより

No. 75 平成24年8月15日 発行

北上川ダム統管理事務所 管理第二課

〒020-0123 盛岡市下厨川字四十四田1番地 TEL 019-643-7972 FAX 019-643-7976

第36回 盛岡・北上川ゴムボート下り大会開催

7月22日 日曜日、第36回「盛岡・北上川ゴムボート川下り大会」が開催されました。

タイムレース、フリーレースの2部門で844艇、1688人が参加。曇り空ではありましたが雨に降られる事も無く、四十四田ダムから開運橋までのコースを841艇、1682人が見事完走しました。タイムレース1位のチームは42分54秒でゴール。2位のチームに2分23秒の大差を付け、昨年1位の43分06秒のタイムを上回り、堂々の1位獲得となりました。

出場者からは「疲れたけど凄く楽しかったです」、「北フォール最高！あのスリル感と爽快感は実際にやってみなければ分かりませんね！来年もまた出場したいです」と感想がありました。

参加者の皆様、お疲れ様でした。まだ出場した事が無い方、来年は是非挑戦してみませんか？

スタート地点の四十四田ダム



いよいよスタート



荒い流れに
転覆者も



開運橋を
目指します



ゴール！



ダム見学会



7月28日土曜日、ダムの施設見学が行われました。訪れたのは「つばき子供会」の小学生1~6年生10名と、引率者の方を合わせた24名です。ものしり館でダムの勉強をした後、監査廊見学と発電所見学をしました。この日は30℃を超える暑い日となりましたが、ダムの中は年間を通じて15℃前後に保たれているため監査廊内は涼しく、中には寒いくらいだったという声も聞かれました。



ものしり館セミナールーム

ダムの中ってどうなっ
ているんだろう？



長い長い監査廊



寒い…

出口だー！！



第1回 水源地子ども交流会が 開催されました



里川キャンプ参加者の記念撮影

水源地子ども交流会は、四十四田ダム水源地域ビジョン推進会議事務局の主催で、四十四田ダム水源地域の子どもたちが集まり、地域の自然や歴史文化に触れながらいろいろな体験活動を通じて交流しあうものです。第1回となる今回は、毎年夏休みに岩手町で行われている「里川キャンプ」に参加し野外での遊びや体験活動を通じて子どもたちが交流するもので、7月31日に岩手町中央公民館南山形分館とその周辺の丹藤川で行われました。岩手町で行っている里川キャンプ参加者48名と盛岡市・八幡平市・滝沢村から各2名の計54名でカヌー体験や水生生物調査などを行いました。

4市町村の子どもたちは、仲良く川遊びなどを通じて交流し、「丹藤川の水は冷たかったけど、なれてくると気持ちよかった、また泳いでみたいです。」と夏の楽しい時間をすごしていました。

里川キャンプ終了後は北上川の源泉である「弓弭(ゆはず)の泉」へ移動し、北上川の歴史について学びました。北上川の最初の小さな流れを見て、普段見慣れている大きな北上川との違いに驚いていました。



ふくろうの巣の前で記念撮影



川の安全講習



川遊びの様子



2階の高さからの流しそうめん



弓弭(ゆはず)の泉



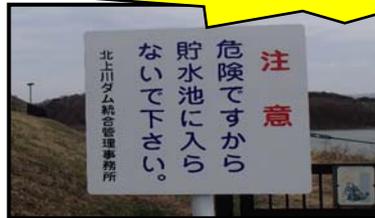
人が入れる程の木の高さ

釣りをされる方へお願いです

夏場は水に関わる事故が多くなります。ダム湖周辺も、草に覆われ足元が見えない箇所が多く、石につまづきケガをしたり、つまづいたはずみで水の中に落ちる等、多くの危険が潜みます。十分に注意して下さい。立入禁止区域は非常に危険なので絶対に入らないで下さい。ゴミは持ち帰り処分をお願い致します。決まり事を守りながら、安全に楽しく釣りをしましょう。



立入禁止区域には入らないで下さい!



立入禁止区域に侵入している人達

↑職員から立入禁止区域であることをお伝えしました。

四十四田の 自然



セキレイ

・はっきりした色どりで長い尾の鳥。鳥は撮影が難しいので貴重なショットです！ゲート付近にて撮影



ウツボグサ

・枯れた花穂は漢方として利用されます。(ちなみに利尿作用があるそうです)事務所周辺にて撮影

編集後記

右の写真は7月半ば、職員が柳平公園で撮影したものです。先月号には載せきれず、しかしお蔵入りではもったいない!という事で今回編集後記に掲載させて頂きました。(小)

